2019 年度･事業報告

一般社団法人横浜みなとみらい21

2019年度　事業報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

１．事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメント事業を推進しています。

（１）エリアマネジメント推進事業
　　ア　街づくり調整事業
　　イ　環境対策事業
　　ウ　文化・プロモーション事業
　　エ　その他事業（会員交流事業など）

（２）横浜都心電波対策事業

（３）広告・イベントスペース等運用事業

2019年度は、事業計画に基づき、「防災対策」、「環境対策」、「まちの魅力発信」の分野を重視して取組を進めました。

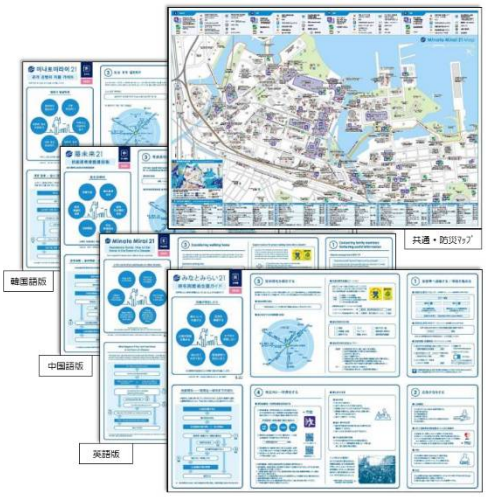
２．実施状況（総括）

（１）エリアマネジメント推進事業

ア　街づくり調整事業

〇安全・安心な街づくり

地震対策の推進では、「防災エリマネ推進委員会」を中心とした検討を進めました。帰宅困難者対策では、「帰宅困難者支援ガイド2020」を四か国語対応としたほか、「帰宅困難者一時滞在施設」の登録施設数の増加に取り組みました。



〈帰宅困難者支援ガイド〉

〇来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

街づくりに関する調査として、来街者調査や進出企業調査を実施し、調査結果のとりまとめを実施しました。

〇街づくりの誘導・調整、情報発信

「街づくり基本協定運営委員会」では、中央地区の各所で進む街区開発についての協議を進めました。

【街づくり行為を承認した街区】

上半期：38, 54, 51-1, 56-1, 48, 60・61, 20, 38, 44, 47①, 47, 53, 58

下半期：20, 38, 43, 47, 60・61, 20, 37, 43, 47, 55-1, 60・61

そのほか、「みなとみらい21インフォメーション」の改訂作業や「エリアマネジメント活動助成事業の10周年総括報告書の作成などに取組みました。

〇みなとみらい21地区の土地の公募業務

横浜市から、「62街区」の開発事業者公募業務を受託し、応募があった提案内容について調査分析を行いました。

イ　環境対策事業

○スマートなまちづくりの実現に向けた取組

みなとみらい 2050 プロジェクトの推進では、パーソナルモビリティやエコモビリティの実証実験を行いました。また、情報発信拠点（フューチャーセンター）についてワークショップを開催しました。地区開発が最終段階を迎えることを踏まえ、社会情勢の変化などに対応して行くため、今後の当地区エリアマネジメントのあり方について有識者等のヒアリング、学識経験者と地区関係者による検討会を実施し、「未来志向で新たなワークスタイルとライフスタイル、イノベーションを実現し続ける街」という、新しい街の全体ビジョンの設定等を行いました。

水環境向上及び生物多様性に関する取組では、ノリの育成実験を実施したほか、アマモの苗を植付け、育成観察及び水中写真と動画撮影を実施しました。

「緑・花」推進に関する取り組みでは、「ガーデンネックレス横浜」との連携や、地区内イベントと関連した植栽等を実施しました。

○環境意識の啓発に向けた取組

身近なエコ活動の実施・検討として、３月に予定していた「アースアワー2020」に向けた準備を進めました（当日イベントは新型コロナウイルスの影響により中止）。特製ソーラーライトキットを参加者自身が組み立て、「エネルギー貧困」状況にある世界の子供たちに届けるソーラーライトチャレンジを実施したほか、地区内施設への一斉消灯の呼びかけに向けたポスターの作成と配付等を行いました。

〈ソーラーライトチャレンジ〉

そのほか、地区内の清掃活動を毎月実施しました。

ウ　文化・プロモーション事業

○まちの魅力発信

インバウンド（訪日外国人）対応では、訪日外国人向けアンケートを計５回実施し、「ツーリストインフォメーションセンター（TIC）」の実証実験を開始した。

情報発信の分野では、「NPO 法人みなとみらいクラブ」「ぴあアリーナ」「京セラ株式会社 みなとみらいリサーチセンター」を公式ウェブサイトで紹介しました。また、情報誌「ミレア」の企画編集に参画して、クリスマスシーズンには、「夜景 book」を発行しました。

〈みなとみらい２１公式 web サイト〉

ＳＰ推進委員会においては、夏プロモーションとして、ラグビーワールドカップ特設サイトの開設を、冬プロモーションとしてクリスマス企画のタイアップ企画を地域全体で展開するなど、効果的なPR活動に取り組みました。

〇賑わいの創出

「みなとみらいSTREET MUSIC」や、マルシェ型催事である「グランモール公園マルシェ」と「みなとみらい縁市（えにしいち）」を主催しました。その他、様々な地区イベントへの参画や、文化・プロモーション委員会・イベント連絡会を活用して情報の共有、意見交換、交流の促進に取り組みました。

エ　その他事業（会員交流事業）

「みなとみらいかもめ SCHOOL」では、新しい講座を開講するなどの工夫にも取り組んだことで、リピーターの受講や新たに取り上げた地区内及び周辺施設との交流を行いました（受講者数/春秋計359人）。

多彩な参加者の交流を目的とした「横浜みなとみらい大交流会」を、横浜美術館を貸し切り、横浜銀行と共催で実施しました（参加者数166名）。新年には今回で8回目となる「みなとみらい２１賀詞交換会」（参加者数：235人）を開催し、今年も多くの会員に参加していただき、地区内の交流につなげました。

（２）横浜都心電波対策事業

電波障害受信状況調査（58, 55-1街区事前、56-1、56-2街区事後）を実施しました。

（３）広告・イベントスペース等運用事業

クイーンズサークル及びクイーンモール等について貸付けを継続するとともに、収益向上に向けて他の大型施設への視察や、新たな広告媒体の実証実験を行いました。

（４）その他（新型コロナウイルス感染症の影響について）

２月～３月にかけて予定されていたイベントが中止・延期された中で、地区の状況の発信に取り組みました。また、各種委員会や部会等を書面開催する等の対応を行いました。

３．会員・役員・職員の状況（2020年3月31日現在）

〇会員　正会員：87団体　準会員：3団体　賛助会員：52団体（計142団体）
〇役員　理事：11人　監事：2人　**〇職員**　20人

４．基金の状況

2億8,500万円

５．社員総会・理事会

〇6 月 7 日（金）　2019 年度第 1 回理事会

第 1 号議案　2018 年度事業報告及び決算の件

第 2 号議案　2018 年度公益目的支出計画実施報告書の件

第 3 号議案　社員総会招集の件

第 4 号議案　社員総会の付議事項の件

第 5 号議案　正会員の入会の件

報告事項 1　会員の入退会の件

〇6 月 25 日（火）　第 11 回定時社員総会

第 1 号議案　2018 年度決算計算書類の件

第 2 号議案　理事選任の件

第 3 号議案　監事選任の件

報告事項 1　2018 年度事業報告の件

報告事項 2　2018 年度公益目的支出計画実施報告書の件

報告事項 3　2019 年度事業計画及び収支予算の件

〇6 月 25 日（火）　2019 年度第 2 回理事会

第 1 号議案　代表理事選任の件

第 2 号議案　役員報酬の件

〇11 月 27 日（水）2019 年度第 3 回理事会

報告事項 1　2019 年度上半期 事業及び予算の執行状況の件

報告事項 2　賛助会員の入会の件

報告事項 3　エリアマネジメントのあり方検討の件

〇1 月 17 日（金）　2019 年度第 4 回理事会（書面表決）

第 1 号議案　正会員入会の件

報告事項 1　会員退会の件

〇３月 25 日（水）　2019 年度第 5 回理事会

第 1 号議案　2020 年度事業計画及び収支予算の件

第 2 号議案　定款第 35 条に関する取引の承認の件

報告事項 1　2019 年度事業執行状況の件

報告事項 2　特定寄附及び公益信託の経過報告の件

報告事項 3　賛助会員の入会の件

街づくり調整事業

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい２１地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。また、取組内容の情報発信にも取り組みます。

○ 安全・安心な街づくり

◇みなとみらい２１地区における地震対策の推進

【 企画調整部・総務部 】

【実施状況】

１．みなとみらい２１地区防災エリマネ推進委員会

災害時情報受伝達体制の強化、帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進、防災意識の啓発などの検討を進め、共助を中心とした地区全体の防災対策を推進した。

・第１回委員会（7 月 4 日）　・第２回委員会（9 月 10 日）
・第３回委員会（12 月 5 日）　・第４回委員会（書面開催）

２．情報受伝達体制の強化

・地区内全施設と行政機関を結ぶ情報受伝達ツールとして設置している「会員用災害時掲示板」（当社ホームページ内・昨年度改良）、FAX、E メールを使用した「情報受伝達訓練」を実施した（9 月 27 日）。
・横浜市等との連絡が可能な無線機や、外国人との意思疎通を支援するツールを検討した。

〈 情報受伝達訓練実施状況〉

３．帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進

・来街者、就業者等一般向けの「帰宅困難者支援ガイド 2019」（防災マップ）を更新し、英語版を初めて配布した（4 月）。更に、2020 年度版としては、防災マップをシンプルで分かり易くなるように改良したうえで、中国語と韓国語版を追加作成した。
・「帰宅困難者一時滞在施設登録制度」の登録促進を図るため、登録検討中の施設等を対象として施設運営を体験する図上訓練を実施した（9 月 10 日、12 月 5 日）。その他、地区内施設に対する登録依頼を改めて行うことで、２施設にご登録いただいた。
・ 当地区の防災関係者のマニュアルである「災害時行動ガイド」について、情報受伝達編と帰宅困難者対策編及び自助対策編（避難行動マニュアル等）の充実を図り、更新・発行した。

４．防災講演会の実施

・地区内関係者の防災意識をより高めるため、防災講演会を開催した【参加者 47 名】（2 月 5 日）。

５．第 25 回みなとみらい 21 地区合同防災訓練

・新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため延期。

〈 参考：帰宅困難者受入訓練状況〉

○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

◇みなとみらい２１街づくり状況の各種調査

【 企画調整部 】

【実施状況】
来街者の利便性快適性に向けた取組として関係部署と調整し、「来街者調査」及び「進出企業調査」に着手、現地調査等を実施した（7～11 月）。

◇みなとみらい２１地区における交通対策等の検討

【 企画調整部 】

【実施状況】
昨年度実施した歩行者の将来交通量推計調査をふまえた歩行者交通処理計画をもとに、横浜市と大規模集客施設開発者などと、来街者の安全で適切な動線や誘導方法等について協議を進めた。 また、当地区のバス交通のあり方を検討するために横浜市交通局が実施している検討会において、地区内各施設の要望や需要予測などの協議を行った。

◇駐車場案内システム協議会の運営

【 企画調整部 】

【実施状況】
駐車場案内システムの運用を図るため、第 25 回総会（7 月 18 日）を開催し、平成 30 年度事業、決算報告及び 2019 年度予算案を議題とした。

○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

◇みなとみらい２１街づくり基本協定の運営【中央地区】

【 企画調整部 】

【実施状況】
１．みなとみらい２１街づくり基本協定運営委員会 ・中央地区開発計画及び街づくり基本協定等の改定について審議した。 ○第 1 回委員会（6 月 20 日）にて、下記案件について協議・承認した。 ・38 街区　ぴあアリーナ MM　サイン計画、夜間照明計画について ・54 街区（仮称）MM２１-５４街区／横浜グランゲート プロジェクト　パブリックアートについて ・55-1 街区（仮称）ＬＧ Ｇｌｏｂａｌ R&D Ｃｅｎｔｅｒ 建設プロジェクト　仮囲いデザインについて ・56-1 街区 京急グループ本社　サイン計画（ビルサイン除く）、夜間照明計画（外構部除く）、パブリックアートについて ・48 街区 暫定利用土地利用計画について ・60・61 街区 暫定利用土地利用計画について

・みなとみらい２１中央地区 地区計画の変更に伴う、みなとみらい２１街づくり基本協定及びペデストリアンデッキ設置指針の改定について

○第２回委員会（10 月３日）にて、下記案件について協議・承認した。
・20 街区　ＭＩＣＥ施設整備事業　サイン計画（ビルサイン除く）について
・38 街区（仮称）首都高速道路㈱神奈川局開発計画　色彩・外装計画について
・38 街区　ぴあアリーナ MM　アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画、パブリックアートについて
・44 街区１画地（仮称）MM２１地区４４街区開発計画
工事計画、仮囲いデザインについて
・47 街区（仮称）MM２１地区４７街区開発計画　アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画、サイン計画（ビルサイン除く）、夜間照明計画、パブリックアートについて
・47 街区　村田製作所みなとみらいイノベーションセンター　夜間照明計画について
・53 街区　みなとみらい２１中央地区５３街区開発事業計画
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
・58 街区（仮称）横濱ゲートタワープロジェクト　色彩・外装計画について

○第２回締結者会議（12 月 19 日）にて、下記案件について協議・承認した。
・みなとみらい２１街づくり基本協定の改定について

○第３回委員会（12 月 19 日）にて、下記案件について協議・承認した。
・みなとみらい２１街づくり基本協定 改定に伴う、みなとみらい２１地区ペデストリアンデッキ設置指針の改定について
・20 街区　ＭＩＣＥ施設整備事業/パシフィコ横浜ノース
アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容について
・20 街区　ホテル施設整備事業/横浜ベイコート倶楽部 ホテル＆スパリゾート、ザ･カハラ･ホテル＆リゾート 横浜
アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、サイン計画、夜間照明計画について
・38 街区（仮称）首都高速道路㈱神奈川局開発計画　夜間照明計画について
・43 街区　神奈川大学みなとみらいキャンパス　コモンスペースのしつらえ･内容、外構・植栽計画、夜間照明計画、サイン計画（ビルサイン）について
・47 街区　村田製作所みなとみらいイノベーションセンター
アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画について
・60・61 街区　Kアリーナ･プロジェクト
街づくり行為に係る行政手続きの開始について

○第４回委員会（書面開催）にて、下記案件について協議・承認した。
・20 街区　ホテル施設整備事業/横浜ベイコート倶楽部 ホテル＆スパリゾート、ザ･カハラ･ホテル＆リゾート 横浜　パブリックアートについて

・37 街区　(仮称)みなとみらい 21 中央地区 37 街区開発計画
　　工事計画、仮囲いデザインについて
・43 街区　神奈川大学みなとみらいキャンパス　パブリックアートについて
・47 街区　(仮称)村田製作所みなとみらい研究開発センター
　　サイン計画(ビルサイン除く)について
・55-1 街区　(仮称)LG Global R&D Center 建設プロジェクト
　　色彩・外装計画について
・60・61 街区　K アリーナ・プロジェクト　工事計画について

２．みなとみらい２１街づくり基本協定運営委員会 専門部会

・街づくり基本協定及び関連細則に関する課題について討議・検討を実施した。
・7 回開催（5 月 23 日、6 月 27 日、7 月 25 日、8 月 22 日、10 月 31 日、11 月 28 日、2 月 27 日）　（※３月は、新型コロナウイルスの影響により中止）

■今期件数実績（３月末迄）

(1)承認通知書発行件数
・街づくり行為　24 件

(2)暫定土地利用
・申請件数　2 件
・届出件数　33 件

(3)屋外広告物
(ﾃﾅﾝﾄｻｲﾝ等)
・申請件数　1 件
・届出件数　74 件

(4)屋外広告物（バス停、パシフィコ横浜、その他）
・バス停広告　86 件
・動く歩道横断幕　13 件
・動く歩道フラッグ　70 件
・クイーンズ橋フラッグ　66 件
・その他　68 件
(街灯フラッグ、MM駅連絡地下通路広告、案内広告 等)

◇「みなとみらい２１インフォメーション」等の改訂

【 企画調整部 】

【実施状況】

企業誘致や視察対応等のために作成している「みなとみらい２１インフォメーション」について、関係者と構成内容の調整を行い（10 月）、発行した（３月）。

◇街づくり調整委員会（部会）の開催

【 企画調整部 】

【実施状況】

１．街づくり調整委員会
・第１回委員会（11 月 20 日）
　2019 年度上半期の事業執行状況及び今後の予定についての報告等を実施した。
・第２回委員会（書面開催）
　2020 年度事業計画（案）について

◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画

【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

【実施状況】
全国のエリアマネジメント団体との交流及び情報収集のため、全国エリアマネジメントネットワーク（2016 年度発足）の総会とエリアマネジメントシンポジウムに参画した。 ・「地域再生エリアマネジメント負担金制度ガイドライン」説明会（6 月 24 日） ・「総会」及び「エリアマネジメントシンポジウム in ＯＳＡＫＡ」（9 月 3 日）

◇【新規】地区内活動等支援事業

【 総務部・事業推進部 】

【実施状況】
１．エリアマネジメント活動助成事業 10 年総括報告書の作成 エリアマネジメント活動助成事業の 10 年間の成果をまとめた報告書を作成し関係者に配布した。（２～３月）。本事業の実施状況等について報告会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。 **２．エリアマネジメント活動助成団体アンケート** 2018 年度のエリアマネジメント活動助成事業の助成団体による実績報告、及び過去 10 年間に助成を受けた団体を対象にしたアンケート結果を実績報告会で報告した。 **３．「公益信託みなとみらい２１まちづくりトラスト」** 「公益信託みなとみらい２１まちづくりトラスト（第１回：2018 年分）」の報告会及び第２回、第３回（1019, 2020 年度分）の選考会の運営サポートを行った。

○ みなとみらい２１地区の土地の公募業務

◇土地公募業務

【 企画調整部 】

【実施状況】
横浜市市有地のうち、６２街区の開発事業者公募業務を横浜市から受託し、公募業務を実施した。（10 月～） 応募があった提案内容についての調査分析をし、横浜市に報告。（～3 月）

環境対策事業

みなとみらい２１地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

○ スマートなまちづくりの実現に向けた取組

これまでの「環境未来都市」、さらに新たな展開を図る「SDGs 未来都市」や「イノベーション都市・横浜」等の横浜市の施策を踏まえながら、地区内関係者や行政、大学・研究機関などと連携して、スマートなまちづくりの実現に向け、先進的・意欲的な取組を推進します。

また、この地区における各種取組について、積極的に情報発信を行います。

◇みなとみらい 2050 プロジェクト等の推進

【 企画調整部 】

【実施状況】

１．みなとみらい 2050 プロジェクトの推進

・２つのモビリティによる走行実証実験

パーソナルモビリティでは、横浜市等からなる協議会に参画し、外国人や一般参加者への公募による有料屋外公道走行実証実験を継続的に実施した（5～2 月）。更に、エコモビリティについても、協議会に参画して、地区内での実証実験は発着場所を一部変更し、２回実施した（６～２月）。

〈 公道走行実証実験状況〉

・情報発信拠点の具体化の検討

みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランに掲げられた当地区の情報発信拠点の具体化に向けたワークショップを関係者と連携して企画・検討を進め、昨年度からのネットワークも活かして２回開催した（10 月、12 月）。

・エリアマネジメントのあり方検討

地区開発が最終段階を迎えることを踏まえ社会情勢の変化などに対応して行くため、今後の当地区エリアマネジメントのあり方について、有識者等のヒアリング、学識経験者と地区関係者による検討会を実施し「未来志向で新たなワークスタイルとライフスタイル、イノベーションを実現し続ける街」という、新しい街の全体ビジョンを設定した。また、会員及び関係者に報告すると共にアクションプランの具体化に向けた検討を実施した。（8 月～3 月）。

・ビジネスエコシステム形成プログラム

実行委員会に参画し、新たなイノベーション事業提案を 2 回の審査で 10 件程度抽出して、実証実験や事業の具体化に向けた検討や来年度以降のすすめ方について関係者との協議を実施した（7 月～3 月）。

・みなとみらいスマートフェスティバル

イベントの円滑な運営に向けて実行委員会に参画し、地区内関係者への事前説明や誘導計画等の調整を行った（～8 月 2 日）。

・スマートシティモデル事業公募（国土交通省）

新技術やデータを活用し、地域課題を解決するスマートシティモデル事業公募（国土交通省）にみなとみらい地区をモデル地区として横浜市や民間企業と応募し、「重点事業化促進プロジェクト※」に選ばれた。（4～5 月）。

※国が重点的に支援を実施することで事業の熟度を高め、早期の事業化を促進していく事業。

２．地球環境未来都市研究会への協力

横浜国立大学を中心に、みなとみらい２１地区を主フィールドに最先端の研究を行う産学官連携のコンソーシアム「地球環境未来都市研究会」に参画し、「超スマート都市 エリアマネジメントプラットフォーム」の実現に向け、個別協議や説明会・ワークショップを開催するとともに、人流・温熱環境のモデル測定などの実施協力を行った（4～11 月）。

◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

【 企画調整部 】

【実施状況】

地区内関係者、学識経験者・専門家、横浜市などと協議・調整しながら、昨年度沖に拡張した汽車道護岸の「実験場」において、「自立するアマモ場造成」とその「効果的な情報発信」などを実施して、「水環境向上・生物多様性」の取組を、以下の通り推進した。

１．アマモ場造成等

・2014 年から汽車道で実施している本取組は、東京湾の環境再生などに貢献したことが認められて国土交通省より表彰された（7 月 15 日）。

・拡張した実験場のアマモなど定期的な観察と、夏期にアマモが消失する原因を探るための観測調査（7～9 月）を行ったが、残念ながら今年も 9 月にアマモの消失を確認した（5～10 月）。

・身近な海藻で視認性もあり、昨年度試験育成に成功したノリの育成実験を実施した（1～2 月）。夏の観測調査結果と昨年度育成状況を勘案して、小型牡蠣殻礁から沖側約４ｍの範囲にアマモの苗を植付け、生育観察及び水中写真と動画撮影を実施した（1～2 月）。

・昨年 12 月汽車道に設置した「カキ殻礁」を引き上げて、海の生物の仕分けを体験するイベントを、地区関係者や学校関係者等の参加協力のもとで実施した（11 月）。

２．効果的な情報発信

・横浜市温暖化対策本部と連携して、みなとみらい本町小学校の協力のもと、汽車道実験場の海中映像ライブ配信を主題材とした海中教室を実施した（6 月 27 日）。

・横浜みなと博物館（日本丸）特別展の「海のプロフェッショナルミニトーク」で、汽車道でのアマモの取組を当社委託先の調査員が講演した（8 月 15 日）。

・昨年度から実施している取組を中心に汽車道でのアマモ植付け等の実証実験内容をとりまとめて、当社団ホームページに水中の写真や動画を掲載したインターネット配信を開始、その後のイベントや観察状況を追加配信した（9 月末～２月）。

・取り組みに関する報告会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。

◇『緑・花』推進に関する取組

【 企画調整部 】

【実施状況】

1．「ガーデンネックレス横浜」との連携

・ガーデンネックレス横浜実行委員会と連携し、「みなとみらいGARDEN LIFE2019」（花き品評会や品評会出品花苗を活用した会場装飾、音楽ライブ「ストリートミュージック」（事業推進部）等）を実施した。昨年度に比べ内容を充実化したことで、来場者が増えた。イベント終了後、品評会に出品した花を地区内に植え付けた（5月）。

〈ガーデンライフ〉

2．「緑・花」の推進

・桜木町駅前広場において地区内イベント
各種イベント（EARTH HOUR、TICAD、ラグビーワールドカップ、年末年始）と関連した植栽（5 月、8 月、9 月、12 月）を実施した。

・街路樹等に設置した地区内樹名板の欠損箇所への新樹名板の設置を実施。また、未設置箇所であった新港地区や中央地区のさくら通り等にも板面デザインをリニューアルした新たな樹名板を設置（9 月、3 月）。

〈「緑・花」の推進〉

・地区内の「緑・花」の充実に向け、植栽場所や方法の検討を行った（8 月～10 月）。

○ 環境意識の啓発に向けた取組

◇身近なエコ活動の実施、検討

【 企画調整部 】

【実施状況】

1．アースアワー2020（3 月 28 日）

・地球温暖化防止と環境保全に関する世界的な取組である「アースアワー2020」との連携方策について、主催者の公益財団法人世界自然保護基金（WWF）ジャパンと協議を行った（6～10 月）。

・アースアワーと連携した環境講演会（新型コロナウイルスの影響により中止）および地区チャレンジとして、特製ソーラーライトキットを参加者自身が組み立て、「エネルギ

一貧困」状況にある世界の子供たちに届けるソーラーライトチャレンジについて、WWFと協議し実施に向けて取り組みを行った（10～2月）。

・地区内施設へ消灯の呼びかけ、地区メッセージ入りポスターの配布を行った（2月）

〈ライトダウンキャンペーン〉

◇環境対策委員会（部会）の開催

【 企画調整部 】

【実施状況】
1．環境対策委員会 第１回委員会（11月20日） ・2019年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について 第２回委員会（書面開催） ・2020年度事業計画（案）について

◇地区内の清掃活動の実施

【 事業推進部 】

【実施状況】
桜木町駅前広場、新港地区、グランモール公園において、定期的に清掃を実施した。（毎月）＜実施主体は下表のとおり＞

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性化委員会	桜木町駅前広場	第１水曜日	約20名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク、赤レンガパーク	第２水曜日	約30名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第３火曜日	約160名	公園愛護会

文化・プロモーション事業

みなとみらい２１地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

○ まちの魅力発信

◇インバウンド（訪日外国人）対応

【 事業推進部 】

【実施状況】
「アクションプラン（2016 年度作成）」に基づき、ホスピタリティ向上を目指した取組を実施した。 ・訪日外国人アンケート調査 ７月、９月、11 月、１月、３月の計５回実施 ・インバウンド対策セミナー ユニバーサルホスピタリティ研修会（7 月）：地区内就業者向け、参加者 17 名 インバウンドホスピタリティ研修会（7 月）：横浜高速鉄道株式会社従業員 20 名 ・みなとみらい２１Tourist Information Center（TIC）の新設 みなとみらい駅みなとみらいチューブでの実施を検討し公募及び審査会を行ったが、選定及び決定には至らなかった）（４～６月）。 ・横浜みなとみらい２１地区におけるＴＩＣ機能設置の実証実験 上記新設を断念し、クイーンズスクエア２階インフォメーションセンター横で外国人来街者の特性把握及び分析を目的に実証実験を開始（３月） ・多言語対応コンテンツ「みなとみらい２１グルメマップ」を作成（９月）

◇ウェブによる情報発信

【 事業推進部・企画調整部 】

【実施状況】
公式ウェブサイトの維持管理等の拡充と合わせて、利便性の向上を実施した。 ・公式ウェブサイトの維持管理、検索機能の新設（8 月）。 ・街づくりサイトMM Ｔｏｗｎ Ｎｅｗｓコンテンツの追加（9 月）。 スポーツを通じて地域コミュニティづくり「ＮＰＯ法人みなとみらいクラブ」（９月） 新たに完成する音楽専門アリーナ「ぴあアリーナMM」（12 月） MMから漕ぎ出すｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ「京セラ みなとみらいﾘｻｰﾁｾﾝﾀｰ」） ・みなとみらいエリアアプリの管理（通年）。 ・台風及び感染症に起因する商業施設を中心とした臨時休館、閉館の情報を集約し、公式ウェブサイトにタイムリーに掲載し、来街者へ周知を図った。（10 月、２月～）

◇広報誌による情報発信

【 事業推進部 】

【実施状況】
１．フリーマガジンmirea（ミレア）の発行 「mirea」の企画編集に参画し、６回発行（５月、７月、９月、11 月、１月、３月） ・９月号は、ラグビーワールドカップタイアップ企画として、地区内のファンゾーン情報や、日本食情報等の掲載を通じて、街の魅力を伝えた。 ・１月号は新たにオープンする施設などを、２０２０みなとみらい１０キーワードと題し創意工夫して、新しい時代への突入を最旬情報として伝えた。 ・３月号は、地区内の防災対策をテーマに、安全・安心なみなとみらいを、対策と現在の取組内容を伝えた。 ・ヨコハマ夜景「夜景 book」の企画編集に参画した（11 月）

◇ＰＲ活動の実施

【 事業推進部 】

【実施状況】
１．ニュースリリースの発行 ・実績のあるリリース配信会社を通じ、みなとみらい 21 地区のイベント情報をリリースすることでイベントをアピールした（7 月、10 月、11 月、12 月）。 ２．ラグビーワールドカップタイアップ企画 ・ファンゾーン来場者のおもてなしとして、地区内各施設のインフォメーションカウンターに、ラグビーワールドカップ出場国チームのフラッグを掲出し、賑わいの創出に貢献した。

◇地区プロモーションの調整

【 事業推進部 】

【実施状況】
みなとみらい２１ＳＰ推進委員会において、より効果的なＰＲ活動を実施した。 ・「mirea」の企画編集に参画し、隔月で３つの号を発行した（5 月、7 月、9 月）。取材記事の多様化、特集記事の活用、地区内イベントタイアップ企画など内容の改善に取り組んだ。 ・会費減少による活動資金不足対策として、事務局業務の外部委託を取り止め、今期より当社団が運営を担った。 ・夏プロモーションでは、ラグビーワールドカップ特設サイトを開設し、取材情報やラグビー情報などを地区内参加施設の情報と連携し、エリア特設サイトを展開した。 ・地区内 4 施設のご協力により、ラグビーワールドカップフォトスポットを設置し、来街者回遊性促進に努めた。 ・ファンゾーン来場者のおもてなしとして、地区内各施設のインフォメーションカウンターに、ラグビーワールドカップ出場国チームのフラッグを掲出した。 ・冬プロモーションでは、地区内のＳＰ推進委員会会員以外とコラボレーションを図り、地区全域にわたるタイアップによるクリスマス企画などを展開した。

・新規会員獲得のため、地区内新設企業向けに入会提案活動を実施した。また、入会方法の改善を図り、準会員制度の新設を開始した。

○賑わいの創出

◇公共空間の利活用

【 事業推進部 】

【実施状況】

１．みなとみらい２１公共空間活用委員会

総会、委員会を開催し、オープンカフェなど公共空間の利用について審査した。（７月、９月開催、３月は書面開催）

２．みなとみらいSTREET　MUSIC

ストリートミュージシャンに演奏の場を提供し、賑わい創出を図る事業「みなとみらいSTREET MUSIC」を開催した。

・出演者による自主運営ライブ（計16回）

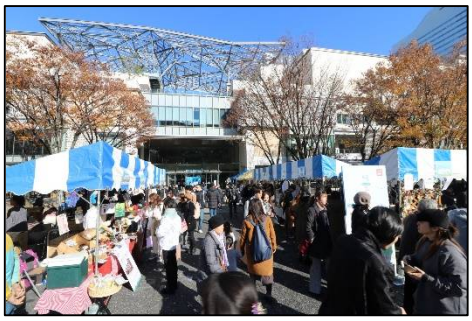
・出演者公募によるライブ（計３回）

３．グランモール公園マルシェ

グランモール公園美術の広場で、野菜や加工品の販売とキッチンカーによる 25 店舗規模のマルシェを開催し、公園の賑わいを創出、地産地消のＰＲを行った。（７月 13 日、14 日）

４．みなとみらい縁市

グランモール公園美術の広場で、地元野菜や食品、手作りのアクセサリー・雑貨などの販売とワークショップの実施、キッチンカーの出店、音楽ライブを行った。（11 月 30 日、12 月１日）



〈みなとみらい縁市の様子〉

◇地区イベントの開催

【 事業推進部 】

【実施状況】

以下の取組を実施して街の賑わい創出に貢献した。

・「ヨコハマ大道芸 2019in みなとみらい 21」（4 月 20 日、21 日）

・「ピカチュウ大量発生チュウ！」（8 月 6 日～12 日）

・「第 12 回みなとみらい大盆踊り」（8 月 16 日、17 日）

・桜木町駅前広場和太鼓「彩」パフォーマンス（10 月 19 日）

・「みなとみらいベイエリア 第 12 回宝島ＨＡＬＬＯＷＥＥＮ」（10 月 26 日）

・「ＮＩＧＨＴ　ＳＹＮＣ　ＹＯＫＯＨＡＭＡ」（11 月１日～12 月 27 日）

・「ヨコハマミライト～みらいを照らす、光のまち～」（11 月 14 日～2 月 16 日）

・「ＴＯＷＥＲＳ Ｍｉｌｉｇｈｔ（オフィス全館点灯イベント)」(12 月 24 日)
・レッドブル　アイスクロス ワールドチャンピオンシップ横浜 2020（2 月 15 日）
・桜木町駅前広場 DANCE FESTA（新型コロナウイルスの影響により延期)。
・みなとみらい２１さくらフェスタ（新型コロナウイルスの影響により中止)

○ その他

◇文化・プロモーション委員会等の運営

【 事業推進部 】

【実施状況】

文化・プロモーション委員会の開催

第 1 回委員会（10 月 24 日)。

・地区のプロモーションについて意見交換を行うとともに、会員交流の場として懇親会を実施した。(参加団体：31 団体、51 名)

第 2 回委員会。(書面開催)

・2020 年度事業計画（案）及び 2019 年度下期事業報告について

・「エリアマネジメントのあり方検討」をふまえた今後の取り組みについて

◇ガイドマップの制作

【 事業推進部 】

【実施状況】

みなとみらい２１ガイドマップの発行

・新規施設を反映した「みなとみらい２１ガイドマップ」の更新を実施し、第 62 版を発行した。

◇歩行者案内地図サインの更新

【 総務部 】

【実施状況】

・新規施設のオープンに際して、変更箇所のシールによる更新作業を複数回実施した。

会員交流事業

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声に耳を傾け、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供

【 総務部 】

【実施状況】
会員への情報提供として、会員・施設設置者連絡会宛てに、地区内情報等のＥメールによる配信を行った。

◇会員相互交流の機会の創出

【 総務部・事業推進部 】

【実施状況】
・新しい取組として、多彩な参加者の交流を目的とした「横浜みなとみらい大交流会」を、横浜美術館を貸し切り、横浜銀行と共催で実施した。【参加者数 166 名】（8 月 22 日） ・普通救命講習会については、11 月に 2 日間に渡り実施した。【参加者数 51 名】（11 月 5 日及び 28 日） ・会員間の交流やネットワークをつくる機会を提供する「みなとみらい２１賀詞交換会」を開催した【参加者数 235 名】（1 月 15 日）   <2020 年 横浜みなとみらい２１賀詞交換会>

◇みなとみらいかもめ SCHOOL

【 事業推進部 】

【実施状況】

みなとみらいかもめ SCHOOL においては、秋学期において、新しい講座を開講するなどの工夫を行い、リピーターの受講や新たに取り上げた地区内及び周辺施設との交流につなげた。

〈エネルギープラント見学〉

1．春学期（４～６月）【全 15 講座 受講者数：218 人】
2．秋学期（９～11 月）【全 11 講座 受講者数：141 人】
3．2020 年春学期（４～６月）の企画検討
　５講座を新規とする全 14 講座を企画した。
4．かもめ SCHOOL 講座予約システムの改修
　セキュリティ対策を含むサーバーのバージョンアップへの即時対応ができるようシステム改修を行った。合わせて、受講料のクレジットカード決済ができるように改修した。（２月）

＜参考：2019 年春学期講座内容＞　　【　】内受講者数

かもめスクール　講　座　名	
01「都市デザイン」って何！？ ～汽車道・北仲エリア編～ 【19】	09 メガロスルフレみなとみらいで「美活」体験！！ ・ハンモックエクササイズ体験 ・サーフエクササイズ体験 【20】
02 関内・関外の 350 年を探る ～吉田新田の開発と横浜開港～ 【11】	10 CrossFit 体験講座 【19】
03 柳原良平が描いた横浜港巡り 【9】	11 曹洞宗大本山總持寺で参禅体験！ 【11】
04 ラグビーワールドカップがやってくる！ 横浜ノーサイド・プロジェクト 【27】	12 有機栽培のフレッシュハーブティーでリラックス ～みんなの庭で自分だけのオリジナルブレンドをつくろう～ 【9】
05 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！ ロケット打上げの技術に迫る 【10】	13 天空の茶室でお茶体験 【10】
06 折れないココロの作り方 ～メンタルヘルスマネジメント実践編～ 【8】	14 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！ 【10】
07 横浜銀行特別プログラム「資産形成に役立つ制度を学ぶ」 iDeCo の必要性～長期化する老後に備える！ 誰でも簡単！つみたて NISA で始める資産運用【15】	15 JAZZ Bar ＠横浜みなとみらいホール 【23】
08 体験して学ぶ！「株式会社ミツバチ」 ～莫大なハチミツをあつめる組織のヒミツ～【17】	

＜参考：2019 年秋学期講座内容＞　　【　】内受講者数

かもめスクール　講　座　名	
01 こうして「みなとみらい線」は誕生した　【11】	07 SNS(ソーシャルメディア)活用と効果の罠　【7】
02 横濱総鎮守　伊勢山皇大神宮の由緒と神社体験【9】	08 Workout Yoga ～簡単全身ボディメイク～　【4】
03 空調と地域冷暖房の仕組みを学び、エネルギープラントの見学をする！　【20】	09 S/PARK Studio で、心も体も健康で美しく！ インナービューティーメソッド　～腸活～ モーションビューティーメソッド インナービューティーメソッド　～温活～　【33】
04 デザイン=コミュニケーション[横浜グッズ編]　【8】	
05 ラグビーW杯が 15 倍面白くなる！ ～日本人の指導で強くなった国、他～ ※最少催行人数に達しなかったため中止　【0】	10 天空の茶室でお茶体験　【10】
06 筆遊び彩書～美文字で絵手紙を書こう！　【9】	11 JAZZ Bar ＠横浜みなとみらいホール　【30】

※みなとみらい かもめ school

就業後の時間がより充実したものになることを目指した、
みなとみらい 21 地区で働く方に向けた事業。
URL: https://kamomeschool.jp/

横浜都心電波対策事業

みなとみらい２１地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

◇電波障害対策事業の実施

【 企画調整部 】

【実施状況】

１．新規開発に伴うテレビ電波障害シミュレーション

新規開発の建物におけるテレビ電波障害シミュレーションを実施し、調査・対策に必要な影響範囲図を作成した。

・37①街区（6～8 月）　　・44①街区（7～9 月）

２．テレビ電波障害受信状況調査

新規開発に伴うテレビ電波障害影響範囲図により、開発状況に応じたテレビ電波受信状況を把握するため、現地における事前、中間調査を実施した。

・58、55-1 街区事前、56-1、56-2 街区事後調査（9～12 月）

◇横浜都心電波対策協議会負担金

【 企画調整部 】

【実施状況】

１．総会・代表者会の開催

協議会の運営を図るため、総会を開催した。

○第 23 回総会及び第 35 回代表者会（7 月 5 日）

・2019、2020 年度代表者会委員及び役員の選任について
・平成 30 年度事業報告及び決算・会計監査報告について
・2019、2020 年度運営委員会委員の委嘱について
2019 年度事業計画及び予算について（報告）
第 2 回公益信託みなとみらい 21 まちづくりトラストの助成内定について（報告）

２．運営委員会の開催

新たな街区開発による開発者負担金の確定や協議会の運営を図るため、運営委員会を開催した。

○第 1 回運営委員会（6 月 14 日）

・2019 年度運営委員会役員の選出について
・第 23 回総会及び第 35 回代表者会への付議事項について

○第 2 回運営委員会（9 月 10 日）

・「(仮称）みなとみらい４４街区計画の件」電波障害対策範囲策定調書（案）について

○第 3 回運営委員会の開催（書面開催)。

・「(仮称）MM３７タワーの件」電波障害対策範囲策定調書（案）について
・2020 年度　事業計画及び予算について

広告・イベントスペース等の運用事業

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

【 総務部 】

【実施状況】
みなとみらい駅直結の施設、クイーンズスクエア横浜内公共空間における広告・イベントスペースの運用を行い、街の賑わい創出に貢献した。また、サウンディング型市場調査を通じて民間事業者との対話を実施し、次年度以降の更なる賑わいの創出に向け検討を開始した。 また、広告・イベントスペースについて、他の大型施設にて、クイーンズスクエア横浜内には展開されていないものを中心に視察を行うとともに、新たな広告媒体についての実証実験を行った。